

愈々南京で

日支交渉開始

一有吉大使の歸任後

有吉大使
興津に園公訪問

最近支那情勢を説明

目下東京に滞在して日本朝野の各方面と折衝し日支文題について了解を求めてつづつある有吉駐支大使は明二十六日午前興津の坐漁莊に西園寺公を訪問して支那最近の經濟事情其他の日支諸事項について説明報告し老公の諒解を得る筈である(東京ラヂオ二十五日)

葉櫻の母國は
スポーツ交響樂

ーションを

求少集

度びその
には憲法
激發し、
むるがた

社年
では一切
相互的利
されど
より強固
つて決定
得可き一
望ましき

Phones : 2105 e 2106 - End, Telegra. "TOZAN"

CASA TOZAN

Mizukami & Cia.
COMMISSARIO

Praça Mauá, 25 - Caixa, 911 - Santos

珈琲 コミサリオ

力一ザ山 東山 銀行部 東山 伯貨定期預金 ミツカミ・イ
サンバウロ市代理店 コンパニア

後藤商會 ルア・フロレンシオ・デ
アブレウ七四A

問題に對
國會で
なるもの
として
る如き農業
の必要を
國とのよ
の
大坂商船
横濱正金銀行
リオ・デ・ジャネイロ支店

新令に基き御申込願に従ひ申請の上許可を得て取扱可申、許可遅延の節は暫らく御猶豫御願可申哉も不計候
送金は一切無手數料にて御指圖通り取計可申上候

◆日本貨預金

當行内地各店の定期預金又は特別當座預金として送金方前項に準じ取扱可申候定期預金は現在年三分之七厘の割當行各店發行円貨現行の預金貯蓄書特別當座預金等は期日成行最好相場にて買取伯賃御支拂可申上候

定期割引、六ヶ月以上利率當分三分五厘
宜御取扱可申上候

Banco Especie de Yokohama Ltda.
[The Yokohama Specie Bank Ltda.]

Caixa, 380 — Rio de Janeiro

右の在伯
来
在伯同胞
心から放送
要するの
本放送室
サンパウロ市
郵便三八二七五九市
○○○第一回
○○○第二回
第三回
○○○第三回
○○○第四回
○○○第五回
主役 千日風
天堂
主任 堀口
美郎

しきき決して強固的切がしその
しきき一定てあ

Phones : 2105 e 2106 - End. Telegra. "TOZAN"
CASA TOZAN
Mizukami & Cia.
COMMISSARIO

本説の日本
財を紙解本ナ
政發ト使ル

心極く少
価格の
少に

Banco Especie de Yokohama Ltda.
[The Yokohama Specie Bank Ltda.]
Caixa, 380 — Rio de Janeiro

○第一映寫班、ソロ
○第三映寫班ソロ
の在伯
伯同胞
本様に
放送
るの
及送章



リオ通信

「革命は敗れたり」とアルベルト大佐語る

前蘇聯監視有力の革命軍人ジョン・アルベルト大佐(親日家)は、過日一記者に對し政界状況に就いて次の如き意見を發表した。

「政界の前途豫見等は無謀極るもので一年後の事も分

るものでない、特に十月革

命以後のブラジル政界は千

變萬化で仆れるもの敗るも

今日の敵は明日の味方と

言ふ場合でまるで悪徒の群

だ、十月革命の主旨は根本

的崩壊し國民の無關心も

驚く他のではない、だが大革

命は次回の大統領選挙まで

は来まいが小規模のものが

大統領選挙問題を演繹

する事となるが、革命も

二十年(護憲革命)三十年

の如きは理想革命は經

済的に損が行く評りだ、こ

の事實を以て早くも全氏の失

ならない人々が居る、二

十二年(カーバナ叛乱)や

三十年(十月革命)三十

の如きは理想革命は經

済的に損が行く評りだ、こ

の事實を以て早くも全氏の失

なならない人々が居る、二

インチキ呼寄査證禁止！

邦人呼寄査證禁止！

親妻子も呼べなくなつた

事恨の空前

去る四月二十一日夜に至り聯邦労働省より海賊代表者の出頭を求め、

のサントス丸移籍の検査は今

民として着伯をして居るが、

後一切禁止する旨申渡した

た三重縣山中も右は舊臘澤某の呼寄が

向は右は舊臘澤某の呼寄が

日本人の呼寄査證の検査は今

のサントス丸移籍の検査は今

民として着伯をして居るが、

後一切禁止する旨申渡した

結果、同様手段でないもの

が二十七件の多數に上つて

ある事が判明、「今後は絶対にせ

ば伊藤竹之助、東義雄兩氏は來

三氏間往來育て、又事務員

の後はリオ歸還後の一月はよ

く本外に亘つて正員、専門

委員相集つて會議を開催、最

後はリオ歸還後の一月はよ

く本外に亘つて正員、専門

委員相集つて會議を開催、最

“ザヨナラ”

元氣一杯な平生さん

滞聖感想を語る

三日から愈々本商議に入る

一行はミナ、スピーバイア方面

見事に怪しきことなし

つた

右は墨市ラルゴ・ダ・セ線

川法律事務所緑川高廣及び

兩人が他の呼寄取扱人より

も早く呼寄せんの人氣取り

も海興が悪いことをして

いるが、今は思はれぬ

後は呼寄の如く装ひにシテ

呼寄書類を作成したもの

この事件は前記の如く、移官

は再び航へた

ことだ

これが発覚し、一時上陸禁止

されたがその後海興の好意によ

り種々工作した結果上陸する

ことが出来たといふ事件があ

り、右は

向は右は舊臘澤某の呼寄が

また来ます

六十九

